

もうすぐ立冬を迎え暦の上では冬がやってきます。暖かい日も多いですが「街路樹は少しずつ色を染め、少しずつですが冬支度が始まっているようです。

過ごしやすい気候になり戸外へ出ると開放感を感じ全力で走り探検し遊ぶお子さま達。季節の木の葉を見つける度「どんぐりころころどんぶりこ〜♪」とお歌が始まったり、大きい小さいなどの形の大きさに気づき、もっと大きい物を探そう！と秋の自然に興味を持ち遊ぶ姿に成長を感じます。

近頃は陽が沈むのが早くなりましたね。日照時間が短くなるこの時期太陽不足になり心身ともに疲れやすくなると言われています。保護者様もお疲れが出やすくなる時期ですので、しんどい時は遠慮せず保育園を頼っていただきリフレッシュされてください。

今月も行事が目白押しです。朝夕と気温差が大きく体調を崩しやすい時期ではありますが、体調管理に気を付けながら笑顔いっぱい時間を過ごしていきたいと思います。今月もよろしくお願ひいたします。

11月の行事予定

行事		
18日	月	ワッキング①
20日	水	避難訓練
25日	月	身体測定 ワッキング②
29日	金	全園児遠足・お弁当給食

今回の避難訓練は【地震発生からの津波】訓練です。

18日(月)のワッキングは塩こうじ作りを行います。
25日(月)のワッキングは、その作った塩こうじを使い和食の日ワッキングを行います。
エプロン・三角巾をお持ちください。

お知らせ to お願ひ

※衣替えについてのお願ひ※

朝晩肌寒くなり、半袖から長袖へと移行していく時期ですね。

ロッカーの中も少しずつ半袖から長袖へと移行していく時期ではありますが、日中はまだ暖かくお子さま達は活動量が多いためまだ汗をかくことも多いです。本格的な寒さがやってくるまでは、調節しやすいように薄手の上着をご用意ください。気候に応じて衣服を調整させていただきますのでロッカーには半袖、長袖両方のご用意をお願いいたします。

【日中】



YPCの制服+薄手の上着
(肌着は半袖タイプのもので構いません)

【降園時】



薄手の長袖+薄手の上着

- 遠足のお手紙を配布しております。29日(金)の全園児遠足はお弁当給食となっておりますので、忘れずに空っぽのお弁当箱をお持ちください。

また、12月の保育料をお支払いいただく際に、今回の行事費(交通費)として1,000円を徴収させていただきます。

- 11月5日(火)より2歳児くじら組はエプロンを使用せず給食をいただきます。お口拭きは引き続きご用意ください。
- 11月13日より子育て支援員としてこの度ご復帰されます。皆さまよろしくお願ひいたします。

お子さま Gallery

さんごグループ

ワッキングで初めてお子さま包丁に挑戦し、阪神バスに乗って貝類館へ遠足に出かけ、2歳児さんは阪神電車に乗って尼崎城まで遠足に出かけたりとお子さま達にとって【経験】をたくさん味わった内容盛りだくさんの一月でした。これらの経験を通してより自分に自信がつき、自分で出来ることはなんでもやってみる！と意欲的に取り組むようになりました。また友だちと一緒に過ごす中で喜びや嬉しいな幸せだなと感じる気持ちもたくさん味わい、友だちのことももっと大好きになった様子のお子さま達。誰かが悲しくて泣いていたり困っている姿を見ると、年上り下など関係なく助け合い慰め合い笑い合うお子さま達の姿に胸が熱くなる毎日です。

少しずつ季節が進み肌寒いと感じる日が増えてきましたが、寒さに負けない体づくりを行いながら、今月末に予定している神戸どうぶつ王国の遠足に向けて元気いっぱい過ごしていきたいと思っています(*^^*)



うきわグループ

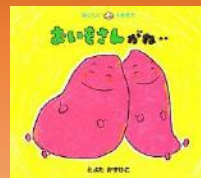
10月に入り一段と過ごしやすい季節になったので「少し距離のある公園へ出掛ける機会も増えました。お友だち同士で手を繋いで歩いたり滑り台の階段を登る際には落ちないようにお友だちの背中を優しく支えてあげたりとお友だちの存在をより強く認識する姿が見られるようになりました。

バスごっこを通して横断歩道を渡る際には手をピーンと挙げてカッコよく渡ることができるようになり、毎日のお散歩でも自分たちから手を挙げて歩く姿に成長を感じます。ハロウィンでは色々な仮装をしたお友だちに興味津々で「じーっと見てみたり『これはなあに?』と聞いたりしてハロウィンの雰囲気を楽しんでいましたよ。

11月から少しずつ寒くなってきますが、身体を動かして元気いっぱい過ごしたいと思います。



おすすめ Library



おいもさんたちがツルを引っ張りヨイショヨイショと次々と出てくる場面からスタート!どんな展開が待っているんだろう?と絵本をめくると楽しくなります。かわいいフレーズが多い絵本で【しんぱいごぶよう】という場面では一緒に手をパーにしたくなる楽しい絵本です。



チョコレートの色に動物たちがやってきて色いどんでん入っていき...先の読めない展開のこの絵本。長新太さんらしい感性が刺激される絵本です。